

台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）加入を積極的に支援するよう求める意見書

我が国と台湾は、自由、民主主義、基本的人権、法の支配といった基本的価値を共有し、様々な分野において交流があり、歴史的にも関わりが深く固い絆で結ばれている。

経済分野においては、2020年の日台双方の貿易総額は7兆6,000億円に達しており、我が国にとって世界第4位の輸出入先であり、貿易相手先としての重要性はますます高まっている。

本市においては、2020年6月、台北駐日経済文化代表處横浜分處より台湾製サージカルマスク1万枚の寄贈があり、また2021年4月にも台湾産パインアップルの寄贈など、様々な交流が行われており結び付きも強い。

こうした中、台湾は、2021年9月にCPTPPへの加入を申請した。台湾のCPTPPへの加入が実現すれば、我が国を含む環太平洋地域の経済貿易に活力を与え、域内経済に好循環を生み出すことはもとより、我が国としても経済のみならず、様々な分野における日台間の協力関係の強化が期待されることである。

よって、国においては台湾のCPTPP加入を積極的に支援するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和5年3月23日

伊勢原市議会